

各位

上場会社名 スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社
 代表者 代表取締役社長 加藤 篤次
 (コード番号 4339)
 問合せ先責任者 執行役員 経営企画室長 高田 真
 (TEL 052-231-2390)

業績予想の修正及び会計方針の変更に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月6日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,555	△78	△152	△83	△1,252.47
今回修正予想(B)	4,490	168	88	305	4,551.39
増減額(B-A)	△65	246	240	388	
増減率(%)	△1.4	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	4,298	△399	△449	△301	△4,499.51

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,753	323	183	107	1,608.31
今回修正予想(B)	9,461	599	445	532	7,947.73
増減額(B-A)	△292	276	262	425	
増減率(%)	△3.0	85.4	143.2	397.2	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	9,036	△438	△556	△644	△9,617.15

修正の理由

従来、「販売手数料」の費用認識については、工事完了時において全て一括費用計上としておりましたが、加入契約に直接関連して発生するものであり、契約以降将来の収益獲得に貢献し、かつ、月額利用料収入によりその回収が見込まれるため、当連結会計年度より、個別に識別可能なものを資産として認識、利用者の期待平均加入期間にて按分計上し、将来の収益と期間対応させる処理に変更しました。

また、伝送路設備を中心とした「構築物」の耐用年数は、主として法人税法に規定する方法と同一の基準によっておりましたが、大型設備投資の実施を契機にその使用可能予測期間を見直したところ、従来採用の耐用年数よりも長期間の使用が見込めることが判明したため、当連結会計年度より、実態に基づく耐用年数を採用することとしました。

これにより、従来の方策によった場合と比べて、平成24年3月期における営業利益は276百万円、経常利益は262百万円、当期純利益は425百万円増加しております。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上